

避難所での過ごし方

避難時の感染症対策

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう。
感染症が流行している場合でも災害時に危険な場所にいる人は避難することが原則です。

知っておくべき5つのポイント

避難とは「難」を「避」けること。

**安全な場所にいる人まで
緊急避難場所に行くことは
ありません。**

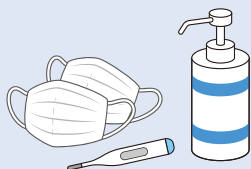


避難先は、小中学校・集会所などで市や地域が開設する緊急避難場所ではありません。

**安全な親戚・知人宅や安
全な宿泊施設に避難する
ことも考えてみましょう。**



食料、水やマスク、消毒液、体温計などの衛生用品は、できるだけ**自ら**携行してください。



市が指定する**緊急避難場所が変更・増設**されている可能性があります。
災害時には**市ホームページ等**で確認してください。



豪雨時の屋外の移動は**車も含め危険**です。
また、やむをえず**車中泊**する場合は、浸水しないよう**周囲の状況等を十分確認**してください。

また、エコノミー症候群に注意しましょう。



避難所生活での留意事項

市が開設する緊急避難場所では、感染症等の拡大防止の為、以下を留意してください。

- 避難者全員の検温・手指消毒・マスクの着用 ●身体的距離の確保 ●定期的な換気
- こまめに手洗い（食事前、トイレ使用後など）を励行するとともに、咳エチケットなどの基本的な感染対策を徹底してください。

ペットの同行避難

災害時に避難する際に、北杜市ではペットの同行避難が行えますが、ペットを施設内で飼育することはできません。
ペットの同行避難ができるよう平常時から準備をしておきましょう。

ペット動物など同行避難の注意点

○ペットフード、シート、ケージなどを用意

ペットは緊急避難場所の屋外専用スペースで飼育しますので、緊急避難場所にペットフードなどの備蓄はありません。
ケージ・リードなど飼い主が責任をもって準備しましょう。

○感染症予防ワクチンを接種

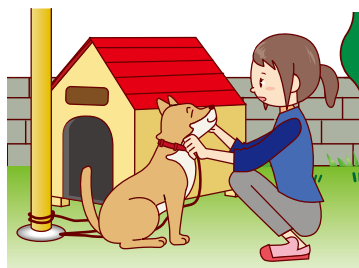
犬は年1回の狂犬病予防接種が必須で注射済証と鑑札の装着も義務となっています。
ペット動物の感染症予防を必ずしておきましょう。

○ノミ・ダニなどの寄生虫を予防

ペット動物の体を清潔に保ち、日ごろから健康管理をしましょう。

○屋外での共同生活をするための「しつけ」

緊急避難場所内には入れないため、ケージなどに入ることを嫌がらないよう、普段から慣らしておくことが大切です。



ペット用避難用品チェックリスト

- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ペットフード | <input type="checkbox"/> ペットシート | <input type="checkbox"/> トイレ用品 | <input type="checkbox"/> ペット飼い主手帳 |
| <input type="checkbox"/> ケージ | <input type="checkbox"/> 首輪・リード | <input type="checkbox"/> 食器 | <input type="checkbox"/> 洗濯ネット |

ペットフード・水は**多めに用意**し避難しましょう。